

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社うかい

コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大工原 正伸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 潮 一生

TEL 042-666-3333

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,681	—	310	—	253	—	127	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	25.98	25.89
23年3月期第2四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第2四半期	11,964	—	3,698	—	30.6	—
23年3月期	12,437	—	3,597	—	28.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,664百万円 23年3月期 3,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,461	△5.7	456	185.5	305	577.8	137	—	27.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,229,940 株	23年3月期	5,229,940 株
24年3月期2Q	306,356 株	23年3月期	306,329 株
24年3月期2Q	4,923,588 株	23年3月期2Q	4,923,634 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞に一部持ち直しの動きがみられるものの、原子力災害・電力供給問題の長期化、雇用・所得環境の厳しさによる消費マインドの低迷等、本格的な景気回復には至っておりません。また、欧州通貨危機に起因する世界経済の後退懸念や急激な円高の継続などにより、景気の先行きは不透明感が強まっております。

外食産業におきましても、生活防衛意識による支出の減少が続いているなかでの自粛の広がりに加え、食品への放射能汚染問題・食中毒事件の影響による食の安全性に対する不安も加わり、取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした経営環境の下、改めて当社の基本理念である「利は人の喜びの陰にあり」に原点回帰し、その理念や精神をぶらすことなく、「うかいの心と技」の更なる徹底追求をし、社会的責任における企業使命として「食を通じて心を豊かにする」をミッションに掲げ、お客様に求められる新たな価値創造を行っていきける店づくりを推進してまいりました。

業績面につきましては、4月は大震災の影響を受けた個人消費の落ち込みにより大幅に売上が減少したものの、5月にはほぼ前年並みに回復し、6月以降は前年を上回る結果となりました。9月は相次ぐ台風の影響もあり減少しましたが、当第2四半期累計期間では売上高は5,681百万円となりました。利益面に関しては原価上昇の抑制や人件費をはじめとする経費の削減に努めた結果、営業利益310百万円、経常利益253百万円、四半期純利益127百万円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### 〔飲食事業〕

和食事業では、うかい鳥山は前年並みに推移し、とうふ屋うかい大和田店・東京芝とうふ屋うかいは前年を上回っております。また、うかい竹亭・とうふ屋うかい鷺沼店は来客数の減少を主因に前年を下回り、和食事業全体では売上高2,677百万円とほぼ前年並みになりました。

洋食事業では、八王子うかい亭・横浜うかい亭・あざみ野うかい亭・表参道うかい亭・GRILLうかいの5店舗で前年を上回る売上高となりました。また、銀座うかい亭ははまだ完全回復には至っておらず前年を下回っております。洋食事業全体としては、売上高2,367百万円と前年を上回りました。

その結果、飲食事業としては売上高5,045百万円となりました。

#### 〔文化事業〕

文化事業では、4月は電力不足に伴う交通機関の運休や心理面での旅行の自粛、また海外観光客の激減等の影響により、周辺観光施設を含め地域全体で来館者数が大幅に落ち込みました。5月以降は国内需要に回復の兆しがみられるものの、海外観光客は完全には戻っておらず、本格回復に至っておりません。この結果、売上高は636百万円となりました。

なお、箱根ガラスの森では、春休み・ゴールデンウィークに引き続き夏休みに第3弾として「1コインチャリティ美術館」と題して、入館料(一律1人500円)すべてを東日本大震災への義援金とする活動を行って参りました。引き続き復興に向け、本業を活かして活動をしてまいります。

(注) 前第2四半期は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期累計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ473百万円減少し、11,964百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少424百万円、売掛金の増加123百万円、有形固定資産の減少93百万円、繰延税金資産の減少107百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期累計期間末における負債は、前事業年度末に比べ574百万円減少し、8,265百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少669百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ101百万円増加し、3,698百万円となりました。主な要因は四半期純利益127百万円、剰余金の配当による減少24百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ424百万円減少し390百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は508百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益243百万円、減価償却費263百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は176百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得141百万円、無形固定資産の取得26百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は757百万円となりました。主な要因は、社債の償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で730百万円、配当金の支払い24百万円等の支出があったためであります。

(注) 前第2四半期は四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成し、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、景気の一部回復基調や復興需要への期待感はあるものの、欧米を中心とした世界経済の下振れ懸念や円高・株安の進行などの不安要因もあり、先行きの見通しは不透明な状況にあります。これらを総合的に勘案し、平成23年5月20日に公表しました通期業績予想値に変更はありません。業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,579	390,750
売掛金	174,445	297,967
商品及び製品	139,952	153,071
原材料及び貯蔵品	235,544	257,803
繰延税金資産	57,979	78,869
その他	158,565	144,879
貸倒引当金	△2,363	△108
流動資産合計	1,579,702	1,323,233
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,890,948	8,963,872
減価償却累計額	△4,171,852	△4,331,133
建物(純額)	4,719,096	4,632,738
土地	2,406,750	2,406,750
建設仮勘定	82,043	75,254
美術骨董品	1,079,605	1,077,576
その他	3,022,296	3,109,653
減価償却累計額	△2,168,370	△2,254,408
その他(純額)	853,925	855,245
有形固定資産合計	9,141,421	9,047,564
無形固定資産		
投資その他の資産	104,368	106,942
投資有価証券	25,297	22,608
繰延税金資産	512,661	383,793
敷金及び保証金	995,864	990,198
その他	78,208	89,968
投資その他の資産合計	1,612,031	1,486,567
固定資産合計	10,857,821	10,641,075
資産合計	12,437,523	11,964,308

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	163,517	229,777
1年内償還予定の社債	477,000	437,000
短期借入金	550,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,928,377	1,796,671
未払法人税等	26,777	20,488
賞与引当金	45,482	113,130
その他	651,311	619,766
流動負債合計	3,842,465	4,066,833
固定負債		
社債	800,000	601,500
長期借入金	3,415,458	2,764,838
退職給付引当金	617,196	633,674
資産除去債務	111,725	112,976
その他	52,788	85,497
固定負債合計	4,997,168	4,198,487
負債合計	8,839,633	8,265,320
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	994,446	1,097,755
自己株式	△563,100	△563,140
株主資本合計	3,558,765	3,662,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,433	2,262
評価・換算差額等合計	4,433	2,262
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	3,597,890	3,698,988
負債純資産合計	12,437,523	11,964,308

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,681,409
売上原価	2,614,209
売上総利益	3,067,200
販売費及び一般管理費	
販売促進費	124,446
役員報酬	83,311
給料及び手当	904,520
賞与引当金繰入額	65,197
退職給付費用	24,297
福利厚生費	156,616
水道光熱費	96,675
消耗品費	81,572
修繕費	80,018
衛生費	100,327
租税公課	68,615
賃借料	351,725
減価償却費	186,861
その他	432,145
販売費及び一般管理費合計	2,756,331
営業利益	310,868
営業外収益	
受取利息	2,524
受取配当金	309
保険解約返戻金	3,195
保険配当金	3,668
その他	7,256
営業外収益合計	16,954
営業外費用	
支払利息	61,009
社債利息	5,018
その他	8,647
営業外費用合計	74,674
経常利益	253,148
特別損失	
固定資産除却損	4,903
台風による災害損失	4,746
特別損失合計	9,650
税引前四半期純利益	243,498
法人税、住民税及び事業税	7,075
法人税等調整額	108,496
法人税等合計	115,571
四半期純利益	127,927

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	243,498
減価償却費	263,600
固定資産除却損	4,903
台風による災害損失	4,746
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,478
受取利息及び受取配当金	△2,833
支払利息	66,027
保険解約返戻金	△3,195
売上債権の増減額(△は増加)	△123,522
たな卸資産の増減額(△は増加)	△35,378
仕入債務の増減額(△は減少)	66,260
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,673
その他	61,458
<b>小計</b>	<b>579,717</b>
利息及び配当金の受取額	209
利息の支払額	△56,815
法人税等の支払額	△14,150
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>508,961</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△141,385
その他	△34,803
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△176,188</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△982,326
社債の償還による支出	△238,500
配当金の支払額	△24,668
その他	△12,106
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△757,601</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△424,828
現金及び現金同等物の期首残高	815,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	390,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計 算書上額 (注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,045,337	636,072	5,681,409	—	5,681,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,045,337	636,072	5,681,409	—	5,681,409
セグメント利益	671,020	57,816	728,836	△417,968	310,868

(注)1. セグメント利益の調整額△417,968千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。